

みんなで個性豊かなまちに

平成5年度施政方針

小林市長は、三月市議会初日の八日、平成五年度の施政方針を説明しました。

この中で市長は、市民自らが「自分のまち」を見つめ直す意識の高揚がまちの活力につながるとし、これまでの「市民とともにまちづけ」として、これまでの「市民とともにまちづけ」

本日ここに、平成5年新津市議会定例会の開催にあたり、新年度における施政の方針と施策の大綱を申し述べ、議員各位をはじめ市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

私が市政を担当しはじめてからいよいよ任期の後半を迎えることとなります。この間私は、まちづくりの基本理念を、①自然と歴史を生かしたまちづくり、②個性を伸し、豊かな心をはぐくむまち



小林市長

づくりの基本理念をさらに推し進めることを強調する一方、施政の柱として、①自然と歴史を生かしたまちづくり②個性を伸ばし、豊かな心を育むまちづくり③福祉と医療の充実

をめざして、これまでの「市民とともにまちづけ」として、個性を伸ばし、豊かな心をはぐくむまち

づくりながら、さらには次の点にも留意しながら、明るく元気なまちづくりを進めていたと考えております。

第一点目は、「寝たきり老人をさなないまちづくり」の推進です。具体的には、老・壮・青・少・幼の各年代の人達が共生できるまちづくりと人達が健康、生きがいを持ちながら社会に貢献できるまちづくりを推進し、今後は「予防福祉」という観点から施策を開拓していくたいと考えております。具体的には、老・壮・青・少・幼の各年代の人達が共生できるまちづくりと人達が健康、生きがいを持ちながら社会に貢献できるまちづくりを推進し、今後は「予防福祉」という観点から施策を開拓していくたいと考えております。具体的には、老・壮・青・少・幼の各年代の人達が共生できるまちづくりと人達が健康、生きがいを持ちながら社会に貢献できるまちづくりを推進し、今後は「予防福祉」という観点から施策を開拓していくたいと考えております。

第二点目は、本市固有の地域文化の掘り起こしと、その振興のための「新津地域学」の創立であります。これは、私が標榜しております「市民とともにまちづくり」を積極的に推進するために取り組んでいきたいと考えております。

さて、新津地域学についてではありますが、この学問は学者による学

りあげました。

以下、主要施策を次のとおり推進したいと考えておりますので、順次項目ごとにご説明申し上げます。

取り組む予定であります。

高速道路のアーケード道路として重要な意味を持ちます主要地方道

の地理を得、平成四年三月に国道四六〇号線として国道に昇格し

ました。本自動車道は本

とになりました。

お買物、ご用命は市内で

お